

7. 授業科目の履修

(1) 全学共通科目の履修について

履修科目の選択に当たっては、この「学生便覧」と「全学共通科目履修の手引き」等の指示事項並びに学年当初に行われる学部・学科のガイダンスに十分注意してください。卒業に必要な全学共通科目の単位は1・2回生の間に修得することが望まれます。3・4回生で履修するには、時間割その他の関係で困難な場合があります。

また、下記1)に注意して履修してください。

- 1) 単位互換等科目（大学コンソーシアム京都単位互換科目含む）の履修について
農学部では、卒業の単位としては認定しません。

(2) 学科推薦の全学共通科目について

令和5年度入学者については、次ページに学科別の推薦科目表を掲載しています。

また、「全学共通科目履修の手引き」にも、平成28年度以降入学者用の学科推薦科目が、掲載されています。

これらの推薦科目は、農学部専門科目を履修する上で特に重要な基礎的科目ですので、各学科が推薦する科目を指定単位数以上修得することが卒業の要件となる場合がありますので、計画的に履修するように心がけてください。

令和5年度入学者全学共通科目推薦科目表

令和5年度入学者は下表に示す各学科毎に定めた推薦科目から各学科で必要な単位数を修得してください。
修得に必要な単位数の詳細は「全学共通科目履修の手引き」を参照してください。

資源生物科学科		応用生命科学科		地域環境工学科	
科 目	単位	科 目	単位	科 目	単位
【自然科学科目群】※1 ※8		【自然科学科目群】※3 ※8		【自然科学科目群】※3 ※8	
微分積分学（講義・演義）A	3	微分積分学（講義・演義）A	3	線形代数学（講義・演義）A	3
微分積分学（講義・演義）B	3	微分積分学（講義・演義）B	3	線形代数学（講義・演義）B	3
線形代数学（講義・演義）A	3	線形代数学（講義・演義）A	3	微分積分学（講義・演義）A	3
線形代数学（講義・演義）B	3	線形代数学（講義・演義）B	3	微分積分学（講義・演義）B	3
統計入門	2	確率論基礎	2	数理統計	2
物理学基礎論A ※7	2	統計入門	2	確率論基礎	2
物理学基礎論B ※7	2	物理学基礎論A	2	物理学基礎論A	2
基礎物理化学（熱力学）	2	物理学基礎論B	2	物理学基礎論B	2
基礎物理化学（量子論）	2	無機化学入門A	2	物理学実験	2
無機化学入門A	2	無機化学入門B	2		
無機化学入門B	2	基礎化学実験	2	【情報学科目群】※2	
基礎有機化学Ⅰ	2	生物・生命科学入門	2	情報基礎〔農学部〕	2
基礎有機化学Ⅱ	2			情報基礎演習〔農学部〕	2
個体と集団の基礎生物学	2	【情報学科目群】※2			
基礎化学実験	2	情報基礎〔農学部〕	2		
遺伝学概論	2	情報基礎演習〔農学部〕	2		
生物学実習Ⅰ	2				
【情報学科目群】※2					
情報基礎〔農学部〕	2				
情報基礎演習〔農学部〕	2				

食料・環境経済学科		森林科学科		食品生物科学科	
科 目	単位	科 目	単位	科 目	単位
【人文・社会科学科目群】※4		【自然科学科目群】※3 ※8		【自然科学科目群】※5 ※8	
社会学Ⅰ	2	微分積分学（講義・演義）A	3	微分積分学（講義・演義）A	3
社会学Ⅱ	2	微分積分学（講義・演義）B	3	微分積分学（講義・演義）B	3
経済学Ⅰ	2	線形代数学（講義・演義）A	3	線形代数学（講義・演義）A	3
経済学Ⅱ	2	線形代数学（講義・演義）B	3	線形代数学（講義・演義）B	3
社会経済システム論Ⅰ	2	統計入門	2	基礎物理化学（熱力学）※6	2
社会経済システム論Ⅱ	2	物理学基礎論A	2	基礎物理化学（量子論）※6	2
環境と法	2	物理学基礎論B	2	基礎化学実験	2
統計リテラシー	2	物理学実験	2	物理学基礎論A ※7	2
Contemporary EconomicsⅠ-E2	2	基礎物理化学要論	2	物理学基礎論B ※7	2
Contemporary EconomicsⅡ-E2	2	基礎有機化学Ⅰ	2	基礎物理化学要論 ※6	2
Food and GlobalizationⅠ-E2	2	基礎化学実験	2	基礎有機化学Ⅰ	2
Food and GlobalizationⅡ-E2	2	個体と集団の基礎生物学	2		
Introduction to Managment-E2	2	細胞と分子の基礎生物学	2		
Contemporary Managment-E2	2				
【自然科学科目群】※4		【情報学科目群】※2			
数学基礎A	2	情報基礎〔農学部〕	2		
数学基礎B	2				
確率論基礎	2	【統合科学科目群】※2			
数学探訪Ⅰ	2	環境学	2		
数学探訪Ⅱ	2				
統計入門	2				
データ分析基礎	2				
数理・データ科学のための数学入門Ⅰ	2				
数理・データ科学のための数学入門Ⅱ	2				
【情報学科目群】※2					
情報基礎〔農学部〕	2				
情報基礎演習〔農学部〕	2				
イノベーションと情報	2				
情報企業論	2				
【統合科学科目群】※2					
統合科学：地球環境と人類とのバランス	2				
統合科学：持続可能な地球社会を目指して	2				
環境農学論	2				

- ※1 計8単位以上を修得すること。
- ※2 極力履修すること。
- ※3 計10単位以上を修得すること。
- ※4 計6単位以上を修得すること。
- ※5 計16単位以上を修得すること
- ※6 「基礎物理化学（熱力学）」または「基礎物理化学（量子論）」を履修した場合、後に「基礎物理化学要論」を履修しても卒業単位には認められないので注意すること（増加単位になります）。
- 「基礎物理化学要論」を履修した場合、後に「基礎物理化学（熱力学）」および「基礎物理化学（量子論）」を履修しても卒業単位には認められないので注意すること（増加単位になります）。
- 同一開講期に「基礎物理化学（熱力学）」「基礎物理化学（量子論）」「基礎物理化学要論」を履修した場合は、「基礎物理化学（熱力学）」「基礎物理化学（量子論）」が卒業単位として認められます（「基礎物理化学要論」は増加単位になります）。
- ※7 入学試験の一般入試の個別学力検査で物理を選択しなかった者、または特色入試による入学者で大学入学共通テストで物理を選択しなかった者に限り、「初修物理学A・B」で代えることができる。（資源生物科学科は令和4年度入学者から適用）
- ※8 自然科学科目群の推薦科目に対応する英語授業のE2科目（全学共通科目履修の手引き「II-2. 全学共通科目一覧」参照）は自然科学科目群及びE科目の卒業単位となるが推薦科目の卒業単位とはならない。

令和4年度以前入学者は、「全学共通科目履修の手引き」（当該入学年度及び令和5年度）等も併せて参照してください。

(3) 農学部専門科目について

農学部専門科目のうち、1・2回生にも配当されているものがあります。本便覧の「科目配当表」を参照してください。

各学科の「科目配当表」の最後に記載の各学科が定める「卒業の要件及び履修上の注意」をよく読み、2・3回生は学年当初のガイダンスに出席し、履修計画を立ててください。

- 1) 農学部専門科目を履修する場合は、課題研究も含め全ての科目についてKULASISでの履修登録が必要です。履修登録の日程は、掲示・KULASIS等で周知します。
- 2) 履修登録期間内に必ず履修登録手続きを行ってください。履修登録していない授業科目は、試験を受けても単位が認定されず、無効となります。
- 3) 全学共通科目、学部専門科目を問わず、同一曜時限に履修登録できる授業科目は一科目のみです。KULASIS＞農学部＞部局ホーム＞ダウンロードに『農学部専門科目時間割』がありますのでそちらも参考にして履修登録を行ってください。

(4) 他学科科目、他学部科目の履修について

他学科に配当の農学部専門科目の履修を希望する場合も履修登録が必要です。ただし、演習・実験・実習は、参加について授業担当教員から特段の指示がない限り、原則として履修できません。

他学部の専門科目の履修を希望する場合は、他学部聴講願を提出することにより履修を許可されることがあります。

なお、他学部聴講については、事前に学科長の承認が必要となります。

履修登録及び他学部聴講等については、掲示・KULASIS等により通知します。

(5) 履修登録単位数の上限について

令和2年度以降入学者から履修登録単位数に上限を設定します。農学部の履修登録単位数の上限は、全学共通科目、農学部専門科目をあわせて1学期につき30単位です。

通年開講科目については、その単位数の2分の1を1学期分の単位数として扱い、当該学期の履修登録単位数を計算します。

上限単位数の対象となる授業科目は、卒業要件に算入することができる全ての授業科目（表1に定める授業科目を除く。）です。

また、以下の者については上限単位数の特例を申請した場合、認められることがあります。

- (1) 編入学により本学部に入学者
- (2) 本学部へ転学した者

- (3) 本学部において転科した者
- (4) 特に優秀な学修成果をあげたと本学部の長が認めた者
- (5) 前各号に掲げる者のほか、本学部の長が認めた者

特例を申請する場合は、申請用紙を学部教務掛へ提出してください。申請時期・方法については掲示・KULASIS等により通知します。

表 1

対 象 外 科 目
授業期間外に行われる集中形式で実施する科目
本学のカリキュラムとは別に他大学等で履修し、学部において単位認定を受けた授業科目

(6) 科目ナンバリングについて

科目ナンバリングとは、授業科目を分類し、学問分野や履修レベルなど番号等で示すことにより、個々の科目の分野や履修レベルを明確にし、教育課程を体系的にわかりやすく明示するシステムのことです。

農学部科目ナンバリングコードは、数字とアルファベットを合わせた15桁で示されます。

農学部全授業科目のナンバリングコードは、農学研究科・農学部ホームページ (http://www.kais.kyoto-u.ac.jp/japanese/student/dep_curriculum/) に掲載しています。

【例】 「資源生物科学基礎」

U A G R 0 1 1 A 1 0 3 L J 6 8

① 課程コード（英字1文字）：

U（学部）

② 開講部局等コード（英字3～4文字）：

A G R（農学部）

③ 学科等コード（数字2桁）：

0 0（学科共通）、0 1（資源生物科学科）、0 2（応用生命科学科）、
0 3（地域環境工学科）、0 4（食料・環境経済学科）、0 5（森林科学科）、
0 6（食品生物科学科）

④ レベルコード（数字1桁）：

- 1 導入的な内容の科目（関連科目の履修や一定の予備知識を前提としない科目）、主として1年生相当科目、
- 2 基礎的な内容の科目（関連科目の履修や一定の予備知識を前提とする科目）、主として2年生相当科目、
- 3 発展的な内容の科目、主として3年生相当科目、
- 4 応用的な内容の科目（卒業論文・卒業研究関連科目）、主として4年生

相当科目

⑤通し番号（英数字4桁）：

「学生便覧」科目表の科目コード4桁。

学部共通科目については、0001～の通し番号。

⑥授業形態コード（英字1文字）：

L（講義）、S（演習）、P（実習）、E（実験）、F（フィールドワーク）、
G（卒業研究）、O（その他）

⑦言語コード（英字1文字）：

J（日本語）、E（英語）、B（日英バイリンガル）、O（その他外国語）

⑧学問分野コード（数字2桁）：

次頁の学問分野コード表 参照

※複数分野にまたがる場合は、1授業科目に3つまで学問分野コードが付加されますが、その場合は1授業科目3つのナンバリングコードが存在することになります。